

地域協働学校だより No.8

令和5年11月30日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

第6回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、下記の通り、ご報告いたします。

- 日時 令和5年11月21日(火) 16時～17時
- 場所 市谷小学校 校長室

1. 代表より

最近、業者の車両の出入りで子どもより優先しようとする事例があった。学校からも「子ども優先」ということを業者に申し入れをしていただきたい。

2. 学校長より

先日の地域レクリエーションでは金管バンドが演奏をし、学芸会には多くの方にご来校いただいた。地域・保護者の方に見ていただき、何より子ども達にとって自信のついた行事になったのではないかと嬉しく思う。

3. 学校からの報告

副校長より10、11月の教育活動(写真と共に)と今後の予定についての報告。

4. 地域連携事業について

- ・5年「環境学習(SDGs)」
SUZUKI(スズキ株式会社)技術部の方と打ち合わせ調整済み。
- ・2年「まちたんけん」、九九について
「まちたんけん」-12月6日(水)、7日(木) 3、4校時に実施予定。
九九について-12月12日(火) 3校時に実施予定。

5. 意見交換

- ・津吹委員より 地域行事参加の御礼。教育委員会へお願いがある。社会福祉協議会の福祉教育・体験学習について、機材は教育委員会、マンパワーは社協と伺った。現場での混乱防止のため社協に機材も含めて実施してほしい旨を伝えた。教育委員会でもご確認・ご検討いただきたい。金管バンドについて、今年度より導入をした公募型プロポーザル方式により選定した事業者による指導が行われているが、導入後にもご注力いただきたい。別件で、交通事故が多発している。牛込地区で2件の死亡事故は過去に無く、運転者も歩行者もご注意願いたい。
- ・濱井副会長より ベルマークのご報告。校外でも牛込一中や近隣の商店から集めさせていただいた。地域の皆様のご協力に感謝したい。
- ・本橋会長より 広報誌を配布させていただいた。行事が再開し賑やかな広報誌となり他校からも大変良いと褒めていただいた。特色である地域に見守られている学校、というところが伝わればと思う。ベルマークは学級対抗のオリンピックにしている。全校朝会で結果発表、表彰を行う。冷水器に交換の予定。
- ・西村副代表より 地区レクをはじめ地域行事への参加の御礼。行事の再開に本来の意図について考

えた。「気楽に演奏を発表できる場」が、力を入れた大きなものになり練習も大変なのは、と思う。今後の方向性も考え来年度に繋げていきたい。

- ・村上校長先生（牛込一中）より 一中祭も終わり、行事を通しての子ども達の成長を感じている。牛込一中の建て替え工事について、年明けに教育委員会から地域向け説明会を予定しているとのこと。
- ・教育委員会 明石先生より 広報誌、迫力があり大変よいと思う。PTA バレーボール大会参加の御礼。保護者の元気は子どもの元気に繋がる。こういう行事を活用していただけたらと思う。
- ・副校長先生より 金管バンドは民間指導員のほかに教員の担当者、スクールスタッフによる講師も入れた体制にしている。学校だよりを12月よりリニューアルし、学校と各学年のお便りを1つにまとめA3にする予定。
- ・小島代表より 学芸会ではいつも見守りをしている私達も子ども達のまた違った顔が見られて大変嬉しかった。選挙出前授業に関して、伝えたいことは選挙権は私達が勝ち取った大切な権利、1票でも結果は変わる。市谷小の模擬選挙をほかの場所で2回行った。結果は毎回違うものとなった。これは、それぞれの場所の問題点や年齢層によって変わる、まさに自分にとって何が大事かよく考えて1票を投じることで結果は変わるということ。今後も小学校にご協力をいただきながら続けていきたい。アウトソーシングについて、業務委託をすることが目的ではなく業務委託によって何をもたらすか、教育委員会には慎重に調査・準備をお願いしたい。

地域協働学校だよりの最新版は市谷小のホームページのトップページ、バックナンバーは以下の URL から
<https://www.shinjuku.ed.jp/es-ichigaya/kyoudou.html>

11月8日（水）6年生を対象に地域の歴史の授業が行われました

地域協働学校からご紹介します。

今回は、未来創造財団のボランティアスタッフをされている後藤さんにお越しいただき「林氏墓地」「牛込地区の歴史について」の講義をしていただきました。また、新宿歴史博物館の芦崎さん、井口さんには、平時は閉じられている「林氏墓地」に特別に入らせていただきました。

○林氏墓地

徳川幕府に仕えた儒教学者林羅山の一族の墓が保存されています。なかでも第八代から十一代の4基は現在のものとは違い石碑の後方に広いスペースがあります。当時の埋葬形式（土葬）の原形をとどめていて貴重な文化遺産です。後藤さん、芦崎さんから儒教の教え、親を敬うこと・友達と仲良くすること、、など、についてお話もありました。

○牛込の歴史

会議室では、牛込地区の歴史についてお話を伺いました。内容は以下の通りです。
牛込地区は外堀通りまで海であったことから貝などを食料にして、縄文時代の大きな集落があり遺跡も多く発掘されました。江戸時代には大名や旗本や御家人が住んでいました。また、江戸時代から明治までの町名が変化しながらも残っているため、町名から当時の様子を思い起こすことができます。納戸町・旗本が住んでいた、筆筒町・武器をしまう筆筒があった、北町・中町・南町・北御徒町・仲御徒町・南御徒町、山伏町・山伏（修行する人）が住んでいた、お寺もあったことが想像される、など。坂も多くそれぞれ名前が付けられているとのことでした。

児童の皆さんからの質問も多く自分の住んでいる町名にとっても興味が高まったようでした。

町名を調べてみるといろいろと興味深いことが分かってきます。新宿区では、昭和40年（1965年）から住居表示が実施されていますが、牛込地区の住民が反対し、昔の町名が残っています。町名をなくさないように努力くださった方に感謝したいですね。町名の由来を調べて、ぜひこの牛込の歴史を感じてほしいと思います。

※「林氏墓地」は毎年11月初めの週末2～3日間限定開放しています。

